



市政一般質問とは、議員が市側に対して市政について尋ねたり、意見や要望を述べ、市政をより良い方向へ導くものです。6月定例会では、6月14日から17日まで17名の議員が登壇し、幅広い活発な論議が展開されました。主な質疑の要旨は次のとおりです。

**史跡の再確認と周辺整備、海を生かした観光資源の開発施設の一括管理と市民目線の窓口業務、職員採用の見直しも必要では？**

**中瀬議員**

**(1) 観光行政について**

① 福重の線刻仏像も最近になって日の目を見たが玖島崎の盗人島、臼島のすぐ傍らの亀瀬などはまだその検証も不十分である。これでは歴史のまち大村が泣く。また、貴重な史跡の周辺整備も不可欠である。もっと史跡を大事にしていくべきではないか。

**(2) 総務行政について**

① 市の全ての施設の一括管理をすれば更なる経費削減になるのではないかな？ 千葉県佐倉市ではかなりの経費削減の実績が上がっていた。

② 窓口相談におけるプライバシーを保つため、一刻も早い対応をお願いしたい。また、相談室として庁舎の中庭にプレハブを設置できないか。

③ 能力と実績のある臨時職員の任期の見直しも含め、職員採用のあり方を検討すべきではないか？

**教育次長(1)①**

市内には、まだ価値の知られていない文化財が数多くあると思う。そうした文化財を所有者や地元のご協力を得ながら調査するなど、対応していきたいと考えている。

**市民生活部長(1)②**

子ども用ペーロン船の無償貸出については、NPO法人

から大村市のほうへ要望があり、ペーロン船の所有者である佐世保市教育委員会と協議をしたが、佐世保市以外のNPO法人等への貸出しはできないこと、大村市を經由した再貸付けは禁止していること、ペーロン船は休眠状態ではなく、今年もペーロン船を使ったイベ

ントを計画していることなどの理由から、借り受けが不可能であり、ペーロン船を活用したイベントの実施は困難と考えている。

**財政部長(2)①**

現在、本市においては、公共施設のアセットマネジメントについて検討している。その中で、一体的な管理も検討していきたいと考えている。

**財政部長(2)②**

中庭へのプレハブの設置については、建築基準法が非常に厳しく解釈されており、難しいと考えている。相談室等の確保については、課の再配置等を含めて検討をしているので、その中で確保できるように努力したい。

**総務部長(2)③**

優秀な人材を確保するために、受験資格年齢を広げたり、経験を有する方の採用等を実施している。今後も総合的な見地で優秀な人材の確保に努めていきたい。

**(その他の質問事項)**

- ・ FM おおむらの支援
- ・ 食育・米飯給食・認知症対策
- ・ 陸上競技場の整備
- ・ 森林・農地の保全と水資源